



新しいクラスごとにまとめたワークシート。それぞれの生徒が何を学びたいか、どんなことに魅力を感じているか、選んだ仕事や学校への興味度合いなどが見えてくる。



進路指導部主事
山本靖男先生(左)

磨けば光る生徒たち。本校で成長し、地元で活躍できる人になってほしいです。

進路指導部・3学年担任
粟津 薫先生(右)

自分に合う道を少しでも早くみつけ、夢をつかんでもらいたいと思っています。

リクルートサービスを活用した指導実践例

本巣松陽高校では、2学年3月の学年末考査後、自宅学習期間の宿題として生徒が『進学事典』付録のワークシートに取り組んだ。HRで担任が本の使い方と課題について説明し、記入したワークシートは終業式の日に出す。「学問分野選択・決定シート」「学校比較シート」「仕事分野選択・決定シート」のどれに取り組むかは生徒にまかせる。

「『進学事典』は地域の学校情報が掲載されており、特にここ2～3年地域の学校を志望する生徒の多い本校の傾向にも合っています。内容のコンパクトさもいいですね。ただ、本を配ただけでは使う率が低くなる心配があります」という進路指導部主事の山本靖男先生。

どこまで志望が固まっているか、興味関心のもち方、取り組み方のスピードは生徒によって違う。自分のペースで、自分が選んだワークシートに取り組む方が主体的に動けるのではないかと考えこの方法を選んだのだという。

実施前に学年会ではかったところ、クラス担任も主旨に賛同し、協力的に取り組んでくれたそうだ。

3学年の新担任に引き継ぎ面談などでも活用

必提出ではなかったが、生徒の提出率は高かった。

「思いのほかたくさん書きこんでいる生徒が多く、それなりの気持ちで調べ、将来について考えたことがうかがえました」とは進路指導部の粟津薫先生。

3学年でクラス替えを行うため、回収したワークシートは次の担任に引き継ぎを行った。3学年4月には「今考えている進路先」「新しい学年を迎える際の決意」などを書く課題にも取り組み、これと合わせて面談の資料としても活用。本格的な進路選択に向かう3学年のスタートとして、生徒・担任双方の準備に役立つ宿題だったと評価しているという。

『進学事典』ワークシートを 自宅学習期間の宿題に

スクールデータ

生徒数 / 758人(男子342人・女子416人)

普通科21学級

進路状況(2009年度) / 大学・短大進学77.1%、専各進学19.9%、就職3.0%

岐阜県本巣市仏生寺859-1

電話 / 058-324-1201 URL / <http://school.gifu-net.ed.jp/syoyo-hs/>